

# 予算委員会

## 委員一覧 (45名)

|     |             |             |             |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 委員長 | 櫻井 充 (自民)   | 上月 良祐 (自民)  | 川田 龍平 (立憲)  |
| 理事  | 足立 敏之 (自民)  | 佐藤 啓 (自民)   | 柴 慎一 (立憲)   |
| 理事  | 白井 正一 (自民)  | 進藤 金日子 (自民) | 高木 真理 (立憲)  |
| 理事  | 自見 はなこ (自民) | 船橋 利実 (自民)  | 塩田 博昭 (公明)  |
| 理事  | 中西 祐介 (自民)  | 堀井 巖 (自民)   | 平木 大作 (公明)  |
| 理事  | 永井 学 (自民)   | 本田 顕子 (自民)  | 三浦 信祐 (公明)  |
| 理事  | 杉尾 秀哉 (立憲)  | 松川 るい (自民)  | 宮崎 勝 (公明)   |
| 理事  | 徳永 エリ (立憲)  | 三浦 靖 (自民)   | 嘉田 由紀子 (維新) |
| 理事  | 上田 勇 (公明)   | 宮本 周司 (自民)  | 串田 誠一 (維新)  |
| 理事  | 金子 道仁 (維新)  | 山田 俊男 (自民)  | 松野 明美 (維新)  |
|     | 石田 昌宏 (自民)  | 山田 宏 (自民)   | 伊藤 孝恵 (民主)  |
|     | 猪口 邦子 (自民)  | 吉川 ゆうみ (自民) | 田村 まみ (民主)  |
|     | 江島 潔 (自民)   | 石川 大我 (立憲)  | 大門 実紀史 (共産) |
|     | 北村 経夫 (自民)  | 小沼 巧 (立憲)   | 山添 拓 (共産)   |
|     | 古庄 玄知 (自民)  | 奥村 政佳 (立憲)  | 山本 太郎 (れ新)  |

(会期終了日 現在)

## (1) 審議概観

第216回国会において、本委員会に付託された案件は、令和6年度補正予算3案であり、いずれも可決した。また、予算の執行状況に関する調査を行った。

なお、本委員会に付託された請願はなかった。

### 〔予算の審査〕

令和6年度補正予算3案(第1号、特第1号及び機第1号)は、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(令和6年11月22日閣議決定)を実施するために必要な経費の追加等を行う一方、租税及印紙収入等の増収を見込むとともに、前年度剰余金の受入や公債金の増額を行うものである。補正予算3案は、12月9日国会に提出された後、衆議院において、一般会計補正予算につき令和6年度予算の一般予備費の残額のうち1,000億円について、令和6年能登半島地震及び豪雨による被害からの復旧・復興に要する経費に使用することを予算総則に追加する修正が行われた上で、12月17日に成立した。

委員会では、12月9日に財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付の後、13日に衆議院における修正部分の説明を修正案提出者から聴取したのに続き、同日から質疑に入り、17日には内外の諸課題に関する集中審議及び締めくくり質疑を行い、討論の後に採決の結果、補正予算3案は可決された。

委員会の質疑においては、総合経済対策を策定した趣旨、補正予算計上事業に係る緊要性の有無、いわゆる年収の壁対策、年金制度改革の方向性、地方創生政策の推進、医療・介

護政策の課題、少子化対策に係る基本的認識、食料安全保障の観点も踏まえた農業政策の充実、半導体産業に対する支援の在り方、防災・減災・国土強靱化に向けた今後の取組、能登半島地震からの復旧・復興対策の課題、福島における今後の復興事業の在り方、尖閣諸島防衛を強化する必要性、政治資金に関する規制強化の在り方等の問題が取り上げられた。

### 〔国政調査〕

石破内閣総理大臣の所信表明演説に対する本会議での各党代表質問の後、予算の執行状況に関する調査を議題として、12月6日、質疑が行われた。

質疑においては、有害鳥獣被害対策に係る予算拡充及び鳥獣保護管理法改正の必要性、核兵器廃絶に向けた取組及び核抑止力の現状に対する見解、政治資金の使途公開の在り方と企業・団体献金が政策決定に与える影響、米国新政権への対応を含む総理の基本的な外交姿勢、国土強靱化に向けた計画的な治水事業推進と港湾整備の重要性、子育て支援の充実と中間所得層の痛税感緩和に向けた所得制限撤廃の必要性、基金事業の監視及び見直しの在り方並びに法整備の必要性に係る総理の所見、高等学校の授業料無償化の意義及び高校教育改革との関係、第3号被保険者制度の早期見直しの必要性、防衛増税の開始時期及び武器輸出の現状、能登地方における土砂撤去に関する支援策の概要及び活用状況等の問題が取り上げられた。

## (2) 委員会経過

### ○令和6年12月6日(金) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について石破内閣総理大臣、江藤農林水産大臣、浅尾環境大臣、岩屋外務大臣、あべ文部科学大臣、福岡厚生労働大臣、中野国務大臣、加藤財務大臣、武藤経済産業大臣、赤澤国務大臣、村上総務大臣、平国務大臣、鈴木国務大臣、中谷防衛大臣、高橋国土交通副大臣、加藤経済産業大臣政務官、古谷公正取引委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永エリ君（立憲）、森本真治君（立憲）、小沼巧君（立憲）、上月良祐君（自民）、滝沢求君（自民）、矢倉克夫君（公明）、柴田巧君（維新）、金子道仁君（維新）、田村まみ君（民主）、山添拓君（共産）、山本太郎君（れ新）

### ○令和6年12月9日(月) (第2回)

- 令和6年度一般会計補正予算（第1号）（予）  
令和6年度特別会計補正予算（特第1号）（予）  
令和6年度政府関係機関補正予算（機第1号）（予）  
以上3案について加藤財務大臣から趣旨説明を聴いた。

### ○令和6年12月13日(金) (第3回)

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

○令和6年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）について修正案提出者衆議院議員高木啓君から衆議院における修正部分の説明を聴いた後、

令和6年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

令和6年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

令和6年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について石破内閣総理大臣、伊藤国務大臣、村上国務大臣、武藤経済産業大臣、林内閣官房長官、平国務大臣、伊東国務大臣、岩屋国務大臣、江藤農林水産大臣、福岡厚生労働大臣、あべ文部科学大臣、三原国務大臣、加藤財務大臣、中谷防衛大臣、鈴木法務大臣、中野国土交通大臣、坂井国務大臣、城内内閣府特命担当大臣、横山財務副大臣、加藤経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

杉尾秀哉君（立憲）、石垣のりこ君（立憲）、小沢雅仁君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、横沢高德君（立憲）、森屋宏君（自民）、白坂亜紀君（自民）、星北斗君（自民）

○令和6年12月16日（月）（第4回）

— 総括質疑 —

○令和6年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

令和6年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

令和6年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について石破内閣総理大臣、福岡厚生労働大臣、中野国土交通大臣、三原内閣府特命担当大臣、平国務大臣、あべ文部科学大臣、坂井内閣府特命担当大臣、浅尾環境大臣、江藤農林水産大臣、鈴木法務大臣、赤澤国務大臣、中谷防衛大臣、岩屋外務大臣、林内閣官房長官、加藤財務大臣、武藤経済産業大臣、村上総務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐々木さやか君（公明）、安江伸夫君（公明）、片山大介君（維新）、松沢成文君（維新）、嘉田由紀子君（維新）、礪崎哲史君（民主）、吉良よし子君（共産）、大門実紀史君（共産）、山本太郎君（れ新）

○令和6年12月17日（火）（第5回）

— 集中審議（内外の諸課題）・締めくくり質疑 —

○令和6年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

令和6年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

令和6年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について石破内閣総理大臣、武藤経済産業大臣、江藤農林水産大臣、浅尾環境大臣、福岡厚生労働大臣、岩屋外務大臣、赤澤国務大臣、坂井内閣府特命担当大臣、三原内閣府特命担当大臣、あべ文部科学大臣、加藤財務大臣、鈴木法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

・集中審議（内外の諸課題）

〔質疑者〕

岩本剛人君（自民）、川田龍平君（立憲）、平木大作君（公明）、柳ヶ瀬裕文君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、倉林明子君（共産）、天畠大輔君（れ新）

・締めくくり質疑

〔質疑者〕

高木真理君（立憲）、串田誠一君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、倉林明子君（共産）、天畠大輔君（れ新）

（令和6年度補正予算）

賛成会派 自民、公明、維新、民主

反対会派 立憲、共産、れ新

○令和6年12月24日（火）（第6回）

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。